

地球科学輻合ゼミナール

(2011年度 前期 第5回)のご案内

東北地方太平洋沖地震の実際

飯尾 能久

京都大学 防災研究所 地震予知研究センター

東北地方太平洋沖地震は、日本付近の海域としては、計器による観測データが一番豊富な地域で発生した。海底地殻変動データを用いた推定では、地震すべりの量は最大で50mにも及んだと言われている。これまでに報告されているデータを吟味し、震源域とその周辺はどのような状況にあったか？ 地震時に何が起こったのか？ などについて、現時点で言えることを整理したい。

5月18日(水) 午後4:30～午後6:00

場所：理学研究科6号館 303号室